

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 石川、能登半島大地震に示された教訓を重く受け止め震災から市民を守る課題と改善すべき対策について（30分）</p> <p>元日の午後の震災ということもあり多くの方が倒壊した家屋の下敷きとなり命をなくされました。耐震対応がされていない古い木造家屋が多かったことも要因と報道されています。</p> <p>半島という地理的要因が道路の破損、決壊もあり、孤立化で救済活動が困難を余儀なくされました。本市とは条件の違いは多く存在しますが、教訓とすべき事項や改善すべきことが多々あると考え要点を絞って質問します。</p> <p>(1) 古い家屋の耐震性の検査と補修費の助成について (2) 本市域において、液状化の危険地域の指定と対策について現状の認識で大丈夫か。 (3) 避難所のジェンダー視点や高齢者からの視点での在り方で改善すべきことは。 (4) 市備蓄品の改善と各家庭での備えの重要性について (5) 電源復帰後の火災を防ぐための啓発について (6) 大震災時、学校給食センターの被災者への炊き出し利用は可能か。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>
<p>2 訪問介護報酬引き下げ改定で介護事業はどうなるのか（15分）</p> <p>令和6年度の介護報酬は全体では1.59%の引き上げとなりましたが訪問介護、定期巡回、随時対応サービス、夜間対応型訪問介護、訪問リハビリテーションの引き下げが決められています。</p> <p>これによって介護施設の経営難や働く人々の労働条件の改善ができなくなり人手不足で訪問介護の運営が厳しくなるのではないかと不安が広がっています今後の見通しを質問します。</p> <p>(1) 訪問介護施設の事業、経営状態について。</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>(2) 在宅介護の崩壊とならないのか。</p> <p>(3) 住み慣れた場所で安心して老後を過ごせる介護をどう実現していくのか。</p> <p>3 学校給食に地場産農産物、地元生産食品の使用拡大を (15分)</p> <p>学校給食は食育の場でもあります。地場産農産物や地元生産食品の使用することにより、教育の場が広がる、生産者との交流で安心安全が確認できるなど、多くの利点があります。学校給食に地場産農産物、地元生産食品の使用に関して質問します。</p> <p>(1) 農産物の埼玉産の比率は。</p> <p>(2) 有機米の使用で安心、安全を。</p> <p>(3) 食肉や加工品の地元産の使用を。</p> <p>(4) 地元農家との交流を深め食育の機会の拡大を。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>